今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱

令和５年３月22日制定

今治市要綱

　（目的）

1. この要綱は、木造住宅の耐震改修の促進に努め、地震に対する住宅の安全性の向上を図るため、社会資本整備総合交付金交付要綱（平成22年３月26日付け国官会第2317号）に基づき、本市の区域内に存する木造住宅の耐震改修等に要する経費に対し今治市補助金交付規則（平成17年今治市規則第53号）に定めるもののほか予算の範囲内で補助金を交付することについて必要な事項を定めるものとする。

（用語の定義）

1. この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。
	1. 耐震改修設計事務所　愛媛県木造住宅耐震診断事務所登録要綱（平成16年７月施行）に基づき登録された建築士事務所をいう。
	2. 耐震改修工事業者　愛媛県木造住宅耐震改修事業者登録制度要綱（平成26年７月施行）に基づき登録された耐震改修登録事業者をいう。
	3. 耐震診断　愛媛県木造住宅耐震診断マニュアル又は一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」又は「精密診断法」（時刻歴応答計算による方法を除く。）に基づき、耐震改修設計事務所が実施する耐震診断をいう。
	4. 耐風診断　令和２年国土交通省告示第1435号により改正された昭和46年建設省告示第109号の規定（以下「告示基準」という。）への適合性を、「2021年改訂版瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づき、建築士、瓦屋根診断技師、かわらぶき技能士、瓦屋根工事技師等が判定する瓦屋根の耐風診断をいう。
	5. 耐震改修設計　地震に対する安全性の向上を目的として実施する補強工事の設計図書（改修前後の耐震診断結果報告書、計画書及び積算見積書（当該補強工事以外の工事を併せて行う場合にあっては、経費の区分が明確であるものに限る。）を含む。）の作成で、耐震改修設計事務所が行うものをいう。
	6. 耐震改修工事　地震に対する安全性の向上を目的として実施する改修工事で、耐震改修工事業者が行うものをいう。
	7. 耐震改修工事監理　耐震改修工事の監理並びにその中間及び完了の報告図書（工事状況報告書、写真及び耐震改修工事後の耐震診断結果報告書を含む。）の作成で、耐震改修設計事務所が行うものをいう。
	8. 耐震シェルター設置工事　地震に対する住宅の倒壊から生命を守ることを目的として実施する耐震シェルター設置工事をいう。
	9. 耐風改修工事　告示基準に適合しない瓦屋根に対して、地震・強風に対する安全性の向上を目的として実施するふきかえ工事で、耐震改修工事業者が行うものをいう。
	10. 耐風改修工事監理　耐風改修工事の監理並びにその中間及び完了の報告図書（工事状況、写真）の作成で、耐震改修設計事務所が行うものをいう。
	11. 既存木造住宅　市内にある昭和56年５月31日以前に着工された一戸建ての木造住宅（店舗、事務所等の住宅以外の用途を兼ねる住宅については、住宅以外の用途の床面積が過半でないものに限る。）で、地上階数が２以下で延べ面積が500平方メートル以下のものをいう。ただし、枠組壁工法、丸太組構法及び国土交通大臣等の特別な認定を受けた工法によって建築されたものを除く。
	12. 沿道既存木造住宅　既存木造住宅のうち今治市耐震改修促進計画に位置付けたブロック塀等の安全確保を推進する災害時の重要な避難路沿道等に面するもので、倒壊した場合に当該道路に影響を及ぼすおそれがあるものをいう。

　（補助対象者）

1. 補助金の交付の対象となる者（以下「補助対象者」という。）は、次の各号のいずれにも該当するものとする。
	1. 既存木造住宅の所有者（共有の場合にあっては、登記事項証明書等により所有者と確認できる者で、共有者全員の同意を得たもの）であるもの
	2. 所有者の世帯全員が市税を滞納していないもの（共有の場合にあっては、代表者に限る。）
	3. 今治市暴力団排除条例（平成22年今治市条例第50号）第２条第３号に規定する暴力団員等でないもの

　（補助対象事業）

1. 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、補助対象者が行う既存木造住宅の耐震改修工事、耐風改修工事及び耐震シェルター設置工事であって、次に掲げる要件を満たすものとする。
	1. 耐震改修工事の場合
2. 愛媛県建築物耐震改修促進連絡協議会が設置する愛媛県建築物耐震評価委員会又は民間木造住宅耐震等の評価機関（以下「評価委員会等」という。）にて評価を受けた耐震診断の結果、上部構造評点のうち最小の値（以下「総合評点」という。）が1.0未満と診断された既存木造住宅であること。
3. 耐震改修設計に基づいて行う既存木造住宅に係る耐震改修工事で、次のいずれにも該当するものであること。
4. 耐震診断の結果、改修後の総合評点が1.0以上となるものであって、評価委員会等にて耐震改修計画の評価を受けたものであること。
5. 耐震改修工事監理がされること。
6. リフォーム瑕疵担保責任保険に加入されたものであること。
7. 耐震改修工事完了後も居住の用に供されるものであること。
8. 補助金の交付の対象となる既存木造住宅に、法令違反がないこと。ただし、耐震改修工事の実施に伴い、法令違反が是正されることとなる既存木造住宅については、この限りでない。
	1. 耐風改修工事の場合
9. 前号の耐震改修工事と併せて実施する耐風改修工事であること。
10. 屋根ふき材の脱落防止対策を推進する区域として、愛媛県耐震改修促進計画又は今治市市耐震改修促進計画に位置付けられた区域に存するものであること。
11. 耐風診断の結果、「耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい」と判定された告示基準に適合しない瓦屋根に対して、ふきかえの結果、建築基準法に適合する屋根構造となるものであること。
12. 耐風改修工事監理がされること
13. リフォーム瑕疵担保責任保険に加入されたものであること。
14. 耐風改修工事完了後も居住の用に供されるものであること。
	1. 耐震シェルター設置工事の場合
15. 評価委員会等にて評価を受けた耐震診断の結果、総合評点が1.0未満と診断された既存木造住宅に係る耐震シェルター設置工事であること。
16. 地震時に住宅の倒壊から生命を守るため、公的機関等により安全性の評価を受けたもの、構造計算により安全性が確かめられたもの又は愛媛県知事が認めるものを設置するものであること。
17. 耐震シェルター設置工事完了後も居住の用に供されるものであること。
18. 補助金の交付の対象となる既存木造住宅に、法令違反がないこと。ただし、耐震シェルター設置工事の実施に伴い、法令違反が是正されることとなる既存木造住宅については、この限りでない。

　（補助対象経費）

1. 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、補助対象者が行う補助対象事業に要する経費（消費税及び地方消費税相当額を除く。）の全部又は一部とする。ただし、耐風改修工事にあっては、2.4万円に屋根面積（㎡）を乗じた額を限度とする。
2. 前項の規定にかかわらず、補助対象者が行う耐震改修工事、耐風改修工事及び耐震シェルター設置工事のうち、耐震補強又は瓦屋根の地震・強風対策に寄与しない部分があるときは、当該部分に係る経費は、補助対象経費としない。

　（補助金の額）

1. 耐震改修工事に係る補助金の額は、補助対象経費に５分の４を乗じて得た額とし、100万円を限度とする。ただし、耐震シェルター設置工事に係る補助金の交付を受けた場合においては、本文の規定にかかわらず、100万円から当該交付額を除いた額を限度とする。
2. 耐風改修工事に係る補助金の額は、補助対象経費に100分の23を乗じて得た額とし、55.2万円を限度とする。ただし、瓦屋根のふきかえ工事が耐震改修工事の補助対象経費に含まれる場合においては、本文の規定にかかわらず、耐震改修工事の補助対象経費から125万円を除いた額のうち、耐風改修工事に要する経費を補助対象経費として補助金の額を算出するものとする。
3. 耐震シェルター設置工事に係る補助金の額は、補助対象経費以内とし、40万円を限度とする。
4. 補助金の額は、前３項ごとに算出するものとし、算出された補助金額に千円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。

（沿道既存木造住宅の補助金の額）

第６条の２　沿道既存木造住宅の耐震改修工事に係る補助金の額は、前条で算出した補助金の額に、次の各号で算出した補助金の額（以下「加算額」という。）を合わせた額とし、加算額は50万円を限度とする。

* 1. 瓦屋根のふきかえ工事が耐震改修工事の補助対象経費に含まれる場合

　　　耐震改修工事と耐風改修工事に係る補助対象経費から前条で算出した耐震改修工事と耐風改修工事の補助金の合計額を除いた額

* 1. 瓦屋根のふきかえ工事が耐震改修工事の補助対象経費に含まれない場合

耐震改修工事に係る補助対象経費から前条で算出した耐震改修工事の補助金の額を除いた額

1. 加算額は、前項で算出された額に千円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てる。

　（補助対象事業の申込み等）

1. 補助対象者は、耐震改修工事の補助金の交付を受けようとするときは、耐震改修設計の着手の前日までに、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込書（別記様式第１号）を提出しなければならない。ただし、既に耐震改修設計で設計図書が作成され、評価委員会等にて耐震改修計画の評価を受けている場合を除く。
2. 前項の申込みを行う際は、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。
	1. 位置図、配置図、平面図及び写真等
	2. 建築確認済証の写しその他建築年月日が確認できる書類
	3. 所有者であることが確認できる書類
	4. 同意書（別記様式第２号）。ただし、共有者又は占有者が存する場合に限る。
	5. 木造住宅耐震診断結果報告書及び木造住宅耐震診断結果報告書評価書の写し（評価委員会等における耐震診断の評価を受けている場合に限る。）
	6. 納税状況調査同意書
	7. 工程表（資材調達計画を含む。）
	8. その他市長が必要と認める書類
3. 前項に掲げる書類の内、既に耐震改修設計で設計図書が作成され、評価委員会等にて耐震改修計画の評価を受けている場合で、今治市木造住宅耐震改修設計事業補助金交付要綱第７条第１項の交付申請の際に提出しているものについては、提出を省略することができる。
4. 市長は、前項の規定による申込みがあった場合は、速やかにその内容を審査するとともに、補助対象事業として内定の可否を決定し、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金内定通知書（別記様式第３号）又は今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込却下通知書（別記様式第４号）により、補助対象者に通知するものとする。
5. 市長は、前項の規定による内定に際し、必要な条件を付けることができる。

（補助対象事業の変更申請等）

1. 前条第２項の規定による内定の通知を受けた補助対象者（以下「補助内定事業者」という。）は、当該内定を受けた事業（以下「補助内定事業」という。）の内容を変更し、又は中止しようとするときは、あらかじめ、今治市木造住宅耐震改修等事業内定変更等申請書（別記様式第５号）に変更内容が分かる書類を添えて市長に提出しなければならない。
2. 市長は、前項の規定による申請があった場合は、その内容を審査し、適当と認めたときは、今治市木造住宅耐震改修等事業内定変更等承認通知書（別記様式第６号）により、補助内定事業者に通知するものとする。

（内定の取消し）

1. 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、内定の全部又は一部を取り消すことができる。
	1. 補助内定事業者が、前条第２項の規定による承認を受けずに補助内定事業の内容を変更し、又は中止したとき。
	2. 評定委員会等による総合評価を受ける場合にあって、評価委員会等において適正と評価　　　　　　された耐震診断の結果、既存木造住宅の総合評点が1.0以上であることが明らかになったとき。

　（補助事業の交付申請）

1. 補助内定事業者は、耐震改修工事の補助金の交付を受けようとするときは、第４条第１号に規定する評価完了後速やかに、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請書（別記様式第７号）に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。
	1. 木造住宅耐震診断結果報告書及び木造住宅耐震診断結果報告書評価書の写し（第７条に規定する申込みの際に添付している場合を除く。）
	2. 木造住宅改修耐震診断結果報告書の写し
	3. 木造住宅改修耐震診断結果報告書評価書の写し
	4. 耐震改修計画書
	5. 耐震改修設計契約書の写し
	6. 耐震改修工事設計図書（施工箇所及び内容等を記載したもの）の写し
	7. 耐震改修工事契約書の写し
	8. 耐震改修工事費見積書及び内訳書
	9. 耐震改修工事監理契約書の写し
	10. リフォーム瑕疵担保責任保険に加入したことが分かる書類の写し
	11. 工程表（資材調達計画を含む。（第７条に規定する申込みの際に添付している場合を除く。））
	12. その他市長が必要と認める書類
2. 耐風改修工事の補助金の交付を受けようとする者は、前号の申請に併せて次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。ただし、前号の書類と重複する書類は省略することができる。
	1. 耐風診断調査票（別表１）
	2. 耐風改修計画書（別表２）
	3. 耐風改修設計契約書の写し
	4. 耐風改修工事設計図書（施工箇所及び内容等を記載したもの）の写し
	5. 耐風改修工事請負契約書の写し
	6. 耐風改修工事費見積書及び内訳書
	7. 耐風改修工事監理契約書の写し
	8. 工程表（資材調達計画を含む。（第７条に規定する申込みの際に添付している場合を除く。））
	9. その他市長が必要と認める書類
3. 耐震シェルター設置工事の補助金の交付を受けようとする者は、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請書（別記様式第７号）に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。
	1. 位置図、配置図、平面図及び写真等
	2. 建築確認済証の写しその他建築年月日が確認できる書類
	3. 所有者であることが確認できる書類
	4. 同意書（別記様式第２号）。ただし、共有者又は占有者が存する場合に限る。
	5. 木造住宅耐震診断結果報告書及び木造住宅耐震診断結果報告書評価書の写し
	6. 耐震シェルターの強度について、公的機関等により安全性が証明された書類、構造計算により安全性が認められた書類又は愛媛県知事が認めるものである書類
	7. 耐震シェルター設置工事契約書の写し
	8. 耐震シェルター設置工事費見積書及び内訳書
	9. 納税状況調査同意書
	10. 工程表（資材調達計画を含む。）
	11. その他市長が必要と認める書類
4. 前３項に規定する申請を行う者（以下「交付申請者」という。）は、補助金の受領を耐震改修工事及び耐風改修工事を行った耐震改修工事業者又は耐震シェルター設置工事を行った耐震シェルター設置工事業者（以下「耐震改修工事業者等」という。）に委任することができる。この場合において、交付申請者は、前２項の交付申請書に今治市木造住宅耐震改修等事業補助金代理受領予定届出書（別記様式第８号）を添付しなければならない。

　（補助金の交付決定）

1. 市長は、前条第１項から第３項の規定による申請があった場合は、速やかにその内容を審査するとともに、補助金の交付の可否を決定し、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定通知書（別記様式第９号）又は今治市木造住宅耐震改修等事業補助金不交付決定通知書（別記様式第10号）により、交付申請者に通知するものとする。
2. 市長は、補助金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。
3. 前条第１項から第３項に規定する申請に係る工事については、第１項の交付決定通知書の通知を受けるまでは工事を着工してはならない。

　（補助事業の変更申請）

1. 前条の規定により補助金の交付決定を受けた交付申請者（以下「補助事業者」という。）は、補助金の交付決定を受けた事業（以下「補助事業」という。）のうち、次の各号のいずれかに変更が生じる場合は、今治市木造住宅耐震改修等事業変更申請書（別記様式第11号）に変更内容が分かる書類を添えて市長に提出しなければならない。
	1. 補助対象経費
	2. 補助対象事業の内容
2. 市長は、前項の規定による申請があったときは、その内容を審査し、前条で決定した補助金額に変更が生じる場合は、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定変更通知書（別記様式第12号）を、補助金額に変更が生じない場合は、今治市木造住宅耐震改修等事業変更承認通知書（別記様式第13号）により、補助事業者に通知するものとする。

　（交付申請の取下げ）

1. 補助事業者は、補助金の交付申請を取り下げようとするときは、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請取下申請書（別記様式第14号）を市長に提出し、その承認を受けなければならない。
2. 市長は、前項の規定による申請があったときは、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請取下承認通知書（別記様式第15号）により、補助事業者に通知するものとする。

　（実績報告）

1. 補助事業者は、補助事業が完了したときは、速やかに今治市木造住宅耐震改修等事業実績報告書（別記様式第16号）に、次に掲げる書類を添えて市長に報告しなければならない。
	1. 耐震改修工事の場合
2. 完了報告書（別記様式第17号）
3. 耐震改修工事代金領収書の写し
4. 耐震改修工事竣工図（平面図等）
5. 耐震改修工事写真（改修内容及び改修前後が確認できるもの）
6. 耐風改修工事を併せて実施した場合は次に掲げる書類
7. 耐風改修工事竣工図（改修内容の記載されたもの）
8. 耐風改修工事写真（改修内容及び改修前後が確認できるもの）
9. 耐風改修工事代金領収書の写し
10. その他市長が必要と認める書類
	1. 耐震シェルター設置工事の場合
11. 完了報告書（別記様式第17号）
12. 耐震シェルター設置工事代金領収書の写し
13. 耐震シェルター設置工事竣工図（平面図等）
14. 耐震シェルター設置工事写真（設置内容及び設置前後が確認できるもの）
15. その他市長が必要と認める書類
16. 第10条第３項後段の規定による届出を行った補助事業者で、補助金の受領を耐震改修工事業者に委任するときは、第１項第１号イに掲げる書類に代えて耐震改修工事に係る請求書の写し及び当該請求書の額から補助金の交付決定額を差し引いた額の領収書の写しを添付しなければならない。
17. 第10条第３項後段の規定による届出を行った補助事業者で、補助金の受領を耐震シェルター設置工事業者に委任するときは、第１項第２号イに掲げる書類に代えて耐震シェルター設置工事に係る請求書の写し及び当該請求書の額から補助金の交付決定額を差し引いた額の領収書の写しを添付しなければならない。

　（補助金額の確定）

1. 市長は、前条に規定する実績報告書を受理した場合は、その内容を審査し、必要に応じて調査を行い、適当と認めたときは、補助金の額を確定し、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付額確定通知書（別記様式第18号）により、補助事業者に通知するものとする。

　（補助金の交付請求及び交付）

1. 前条の規定により補助金の額の確定通知を受けた補助事業者は、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金請求書（別記様式第19号）により、補助金を請求することができる。
2. 第10条第３項後段の規定による届出を行った補助事業者は、前項に規定する補助金の交付請求において、補助金の受領を耐震改修工事業者等に委任するときは、前項の請求書に今治市木造住宅耐震改修工事補助金代理受領委任状（別記様式第20号）又は今治市木造住宅耐震シェルター設置工事補助金代理受領委任状（別記様式第21号）を添付し、市長に提出しなければならない。
3. 市長は、第１項の規定による請求があった場合は、速やかにその内容を審査し、適当と認めたときは、補助金を交付するものとする。

　（地位の継承）

1. 第７条第１項の規定による申込を行った者、補助内定事業者又は補助事業者（以下「補助事業者等」という。）が、死亡その他の特段の事情により補助事業を実施又は継続することが困難となった場合において、相続等により補助事業者等の法的な地位を継承した者は、市長に申請し、承認を受けることにより、この要綱の規定に基づき補助事業者等が取得した地位を継承することができる。
2. 前項の規定によりこの要綱に基づく補助事業者等の地位を継承しようとする者（以下「補助事業継承者」という。）は、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金地位継承申請書（別記様式第22号）に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。
	1. 地位を継承する者であることを証する書類
	2. 共有者又は占有者の同意書（共有の場合又は所有者と占有者が異なる場合）
	3. 納税状況調査同意書
	4. その他市長が必要と認める書類
3. 市長は、前項の申請があったときは、その内容を審査し、地位の継承を認めたときは、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金地位継承認定通知書（別記様式第23号）により、補助事業継承者に通知するものとする。

　（補助金の交付決定の取消し）

1. 市長は、補助事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。
	1. 偽りその他不正な手段により補助金の交付を受けたとき。
	2. 補助金を補助事業の目的以外に使用したとき。
	3. 補助事業の実施方法が不適当と認められるとき。
	4. 補助事業を中止し、又は廃止したとき。
	5. この要綱に規定する補助要件を欠くとき。
	6. 前各号に掲げる場合のほか、補助金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱の規定に違反したとき。
2. 市長は、前項の規定による取消しをしたときは、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定取消通知書（別記様式第24号）により、補助事業者に通知するものとする。

　（補助金の返還）

1. 市長は、前条の規定により補助金の交付決定を取り消した場合は、その取消しに係る補助金について、既に交付した補助金の全部又は一部を返還させるものとする。

　（適用除外）

1. 市長は、次の各号のいずれかに該当する既存木造住宅に対しては、補助金を交付しない。
	1. 国、地方公共団体その他の公共団体が所有している既存木造住宅
	2. 過去にこの要綱に規定する補助金の交付の対象となった既存木造住宅
	3. 耐震改修工事、耐震シェルター設置工事に係る経費について、他の補助金制度による補助金その他これに準ずるものの交付の対象となった既存木造住宅又は交付の対象となる予定の既存木造住宅
2. 前項第２号の規定にかかわらず、耐震改修工事補助金については、耐震シェルター設置工事

補助金の交付を受けていても、交付することができる。

　（調査等）

1. 市長は、補助内定事業又は補助事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、補助事業者等に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査若しくは現地検査をすることができるものとする。この場合において、補助事業者等は、この調査等に協力しなければならない。

　（関係書類の保管）

1. 補助事業者は、補助事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、補助事業が完了した日の属する年度の翌年度から起算して10年間これらを保管しなければならない。

　（委任）

1. この要綱に定めるもののほか、補助金の申請等に係る事業の執行に関し必要な事項については、市長が別に定める。

附　則

　この要綱は、令和５年４月１日から施行する。

附　則

　この要綱は、令和６年４月１日から施行する。

別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（一次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 |
| 一次診断者 | 所属名 |  |
| 診断者名 |  |
| 所在地 |  |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： |
| 評価依頼者 | 氏名 | 　　　　　　　　　　様　　　　　　連絡先： |
| 建築物の概要等（ヒアリング） | 所在地 |  |
| 竣工時期 | 築年数　　　年 | 竣工時期　　　西暦　　　年 | □不明 |
| 増築有無 | □無　□有　増築部築年数　　　　年　　　概要： |
| 階数 | □平屋 | □2階建 | 屋根勾配：□６寸以下　□急勾配 |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　　） |
| 屋根材 | □粘土瓦　□PC瓦　□J形　□F形　□S形□瓦かどうか不明　□瓦以外の屋根材 |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期　西暦　　　年　　概要： |
| 屋根不具合 | □無　□有　□雨漏り（　　　　）　□しっくいのはがれ（　　　）　　　　　　□その他（　　　　） |
| 屋根診断（地上からの目視等） | 全体調査 | □屋根に被害がある　□屋根に変形・歪みがある　□瓦が飛散している　□瓦が崩れている　□瓦が破損している□瓦にずれや浮上がりがある　□接着剤の流出痕がある□その他の破損等（　　　　） |
| 適合診断 | □上記の「全体調査」に該当する項目がある |
| □2001年より以前に施行された瓦屋根の建築物であり、屋根改修がされていない。　 |
| □瓦屋根が土葺き工法だと思われる。　□瓦屋根の工法が不明 |
| □瓦屋根が非防災タイプだと思われる。□瓦屋根の種類が不明 |
| □瓦屋根の緊結方法が下図のような方法となっている。瓦の配置が蛇行しており、留め付けがされていない可能性が高い瓦にボルト・ビス等による緊結がない瓦にビス・銅線等による緊結がない瓦にビス・銅線等による緊結がない平部がずれている緊結材が見える袖瓦に緊結材が見えない軒瓦に緊結材が見えない |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い（上記「適合診断」に該当する項目がない）。 |
| □耐震性・耐風性を確認するためには二次診断の実施が必要（上記「適合診断」に該当する項目が1以上ある）。 |
| 所見 |  |

別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（二次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 |
| 調査担当 | 会社名・代表者 | 会社名：　　　　　　　代表者名： |
| 所在地 |  |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： |
| 診断資格者名 | 氏名： |
| 診断者の資格 | □瓦屋根診断技士　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士（1級、2級）□建築士（1級、2級、木造）　□その他 |
| 依頼者 | 氏名 | 　　　　　　　　　　様 |
| 対象建物 | 住所 |  |
| 瓦の種類 | □Ｊ形　□F形　□S形　□PC瓦　□その他（　　　　） |
| □防災瓦　□非防災瓦 |
| 構法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□その他（　　）□不明（　　　）　 |
| 平部 | 桟瓦の留め付け | □全数　□千鳥緊結　□（　）枚おきに留め付け　□無緊結　□不明（　　　） |
| □くぎ（1本以上）　□ねじ（1本以上）　□緊結線　□その他（　）□不明（　　）□瓦の種類がF形かつ非防災瓦である場合、くぎ等2本以上で緊結 |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　）状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷□その他（　　　） |
| 軒部 | 軒瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線□全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷　□その他（　　　） |
| けらば部 | 袖瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線□全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷　□その他（　　　） |
| 棟部 | 棟の種類・状態 | □冠瓦伏せ棟の場合 | 冠瓦の固定：□全数留め付け　□（ ）枚おきに留め付け □なし　　　　　　□ねじ　□くぎ　□緊結線　不明（　　　） |
| □のし瓦積み棟の場合　 | 大棟（ ）段　隅棟（ ）段　□下り棟（ ）段冠瓦の固定：□ねじ　□トンボ（棟芯あり）　□トンボ（棟芯なし）　□大回し等　□なし　□不明（　　　　　）のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）　□なし　□不明（　　　　） |
| 劣化状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き　　　□しっくいの劣化　□その他（　　　　　） |
| 谷部 | 谷部の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）状態：□瓦の浮き・ズレ・脱落　□板金の孔開　□その他（　　　　　） |
| 改修が必要な部位★ | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□谷部　□その他（　　　） |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。（上記「改修が必要な部位」がない） |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。（上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある） |
| 所見・要望事項 |  |

※下線は令和２年国土交通省告示第1435号により改正（令和４年１月１日施行）された昭和46建告第109号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象外とする。

|  |
| --- |
| □屋根伏図　□その他（　　　　） |
| （写真を添付） | （写真を添付） |
| 改修が必要な部位 | 改修案 |
| □1階□2階 | □平部　□軒部　□けらば部□棟部（　棟）　□谷部□その他（　　　） |  |
| □1階□2階 | □平部　□軒部　□けらば部□棟部（　棟）　□谷部□その他（　　　） |

別表２

耐風改修計画書

1. 補助対象木造住宅

|  |  |
| --- | --- |
| 所　有　者 | 住所 |
| 氏名 |
| 木造住宅の位置 | 所在地　今治市 |
| 基準風速 | ３４ｍ／ｓ |

1. 事業計画

瓦屋根を地震・強風に対して、安全な構造とすることを目的として葺替え工事を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 既存瓦屋根の種類 | □Ｊ形　　□Ｆ形　　□Ｓ形　　□ＰＣ瓦　　□その他 |
| 瓦屋根の葺替え面積 | 　　　　　　　　　　　　　　㎡ |
| 葺替え後の屋根の種類 | 　　　　　　　　　　　　　　 |
| 事業経費 | 　　　　　　　　　　　　　 |
| 事業開始（予定）年月日 | 　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 事業完了（予定）年月日 | 　　　　　　年　　　　月　　　　日 |

別記様式第１号（第７条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込書

　　年　　月　　日

（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　申請者　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第７条第１項の規定に基づき、次の事業について申し込みます。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 建物所在地 | 　今治市 |
| 耐震診断受診年度 | 　　　　　　　　　年度 |
| 耐震診断評価番号 | 　 |
| 工事着手予定年月日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 工事完了予定年月日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 耐震改修設計（改修耐震診断）委託先事務所名 | 　（℡：（　　　　）　　　－　　　　　） |
| 事業費（予定額） |  　　　　　　 　円 |
| 　耐震改修等事業補助金の申込みをするに当たり、次のいずれにも該当することを誓約します。　(1) 市税を滞納していないこと。　(2) 今治市暴力団排除条例第２条第３号に規定する暴力団員等でないこと。　　なお、上記について、市長が必要と認める場合には、調査することに同意します。 |

（添付書類）

　(1) 位置図、配置図、平面図及び写真等（現況を示したもの）

　(2) 建築確認済証の写しその他建築年月日が確認できる書類

　(3) 所有者であることが確認できる書類

　(4) 同意書（別記様式第２号）。ただし、共有者又は占有者が存する場合に限る。

　(5) 木造住宅耐震診断結果報告書及び木造住宅耐震診断結果報告書評価書の写し（評価委員会等における耐震診断の評価を受けている場合に限る。）

　(6) 納税状況調査同意書

　(7) 工程表

(8) その他市長が必要と認める書類

（別紙）

納税状況調査同意書

申請者である私の世帯全員について、市税の納税状況を調査することに同意します。

　（宛先）今治市長

年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　申請者　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

|  |
| --- |
|  |

※　申請者は記入しないでください。

※　市税の滞納がある場合には、補助金の交付はできません。

|  |
| --- |
| 　上記のものから補助金交付申請があったので、申請者の世帯全員の納税状況調査をお願いします。　　　　年　　月　　日　　　課長　様課長　　　　　　　　　　 |
|  | 市税滞納の有無 | 滞納がないとき・・・「滞納なし」滞納があるとき・・・「滞納あり」 |  |
| 　　納税状況は上記のとおりです。年　　月　　日　　　　　課長　　　　　　　　　印　 |

別記様式第２号（第７条関係）

同　　意　　書

申請者　　　　　　　　　　　　が、次の建築物の　木造住宅耐震改修等事業

を実施することについて、利害関係者として同意いたします。

建物所在地

（共有者）

　　　　　　　　年　　月　　日

建物所有者等　　住所

　　　　　　　　　　（共有者１）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

(自署)

　　　　　　　　年　　月　　日

建物所有者等　　住所

　　　　　　　　　　（共有者２）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

(自署)

　　　　　　　　年　　月　　日

建物所有者等　　住所

　　　　　　　　　　（共有者３）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

(自署)

（建物占有者）

　　　　　　　　年　　月　　日

建物占有者　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名

(自署)

別記様式第３号（第７条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金内定通知書

　　第　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　様

今治市長　　　　　　　　　印

　　　　　年　　月　　日付けの今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込書により申込みのあった補助金については、次のとおり内定したので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第７条第２項の規定により通知します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 建物所在地 | 　今治市 |
| 耐震診断受診年度 | 　　　　　　　　　年度 |
| 耐震診断評価番号 | 　 |
| 事業着手予定年月日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 事業完了予定年月日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 耐震改修設計（改修耐震診断）委託先事務所名 | 　（℡：（　　　　）　　　－　　　　　） |
| 事業費（予定額） |  　　　　　　 　円 |
| 内定の条件1. 事業の着手は、この内定通知を受けた後速やかに行ってください。
2. この内定通知を受けた後は、耐震改修設計を行い、改修計画書等をそろえて補助金交付申請書を提出してください。
3. 内容を変更又は中止する場合は、あらかじめ市長に申請し、承認を受けてください。
 |

別記様式第４号（第７条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込却下通知書

　　第　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　様

今治市長　　　　　　　　印

　　　　　年　　月　　日付けの今治市木造住宅耐震改修等事業補助金申込書による補助金の申込みについては、下記の理由により却下することに決定しましたので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第７条第２項の規定により通知します。

記

却下の理由

別記様式第５号（第８条関係）

今治市市木造住宅耐震改修等事業内定変更等申請書

　　年　　月　　日

（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号により内定を受けた今治市木造住宅耐震改修等事業補助金について、下記のとおり事業内容の変更（中止）をしたいので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第８条第１項の規定により申請します。

記

１　変更等の理由

２　変更等の内容

別記様式第６号（第８条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業内定変更等承認通知書

　　第　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　様

今治市長　　　　　　　　　印

　　　　　年　　月　　日付けの今治市木造住宅耐震改修等事業内定変更等申請書については、下記のとおり承認しましたので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第８条第２項の規定により通知します。

記

１　変更前の内容

２　変更後の内容

別記様式第７号（第10条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請書

　　年　　月　　日

　（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　申請者　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱の規定に基づく補助金の交付を受けたいので、同要綱第10条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建築物の概要 | 建物所在地 | 今治市 |
| 建築年月日 | 年　　月　　日 |
| 工事予定期間 | 着手予定年月日 | 年　　月　　日 |
| 完了予定年月日 | 年　　月　　日 |
| 事業費見積額 | 補助対象経費 | 耐震改修工事費 |  | 円　　　　　 |
| 耐風改修工事費 |  | 円　　　　　 |
| 耐震ｼｪﾙﾀｰ設置工事費 |  | 円　　　　　 |
| 補助対象経費外 | 耐震改修設計費 |  | 円　　　　　 |
| 耐震改修工事監理費 |  | 円　　　　　 |
| 補助金交付申請額（それぞれ千円未満切捨て） | 補助金交付申請額 |  | 円　　　　　 |
| (内訳) | 耐震改修工事費 |  | 円　　　　　 |
| 耐風改修工事費 |  | 円　 |
| 耐震ｼｪﾙﾀｰ設置工事費 |  | 円　 |
| 改修前後における上部構造評点 | 現状（改修前） | 改修後 |
|  | Ｘ方向 | Ｙ方向 |  | Ｘ方向 | Ｙ方向 |
| ２階 |  |  | ２階 |  |  |
| １階 |  |  | １階 |  |  |

（補助金振込先口座）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 金融機関名 | □　銀　行□　金　庫□　農　協 | □　本　店□　支　店□　支　所 |
| 預金種別 | □　普通　　　□当座 | 口座番号 |  |
| 口座名義人 | （ふりがな）　氏　　名 |

※　口座名義人は、申請者本人名義の口座をご記入ください。

別記様式第８号（第10条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金代理受領予定届出書

　（宛先）今治市長

年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　申請者　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

耐震改修工事、耐風改修工事又は耐震シェルター設置工事に関する補助金の受領権限を下記のとおり委任する予定です。

記

１　耐震改修工事補助金及び耐風改修工事補助金

住所

事業者名

代表者名

２　耐震シェルター設置工事補助金

住所

事業者名

代表者名

別記様式第９号（第11条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定通知書

今治市指令　　第　　号

　　　　　　　　様

　　　　年　　月　　日付けで申請のあった今治市木造住宅耐震改修等事業補助金については、次のとおり交付することに決定したので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第11条第１項の規定により通知します。

　なお、補助事業の変更がある場合は、今治市木造住宅耐震改修等事業変更申請書（別記様式第11号）を、取り下げする場合は、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請取下申請書（別記様式第14号）を速やかに提出してください。

　また、補助事業が完了したときは、遅滞なく、今治市木造住宅耐震改修等事業実績報告書（別記様式第16号）に関係書類を添えて報告してください。

　　　　　年　　月　　日

今治市長　　　　　　印

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 交付年度 | 　　　　　年度 | 受付番号 | 第　　　号 |
| 補助金交付決定通知額 | 　交付決定合計額　　　　　　　　　　円 |
| （内訳） | 耐震改修工事費 |  | 円 |
|  | 耐風改修工事費 |  | 円 |
|  | 耐震ｼｪﾙﾀｰ設置工事費 |  | 円 |
| 交付の条件及び指示 | (１)　この補助金は、本補助事業の目的以外に使用してはならない。(２)　この補助事業については、市長は必要に応じて検査し、指示を行い、又は報告を求めることができる。(３)　今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第18条第１項各号のいずれかに該当するときは、この決定の全部又は一部を取り消すことがある。(４)　(３)により取り消した場合は、補助事業の当該取消しに係る部分に関し既に補助金が交付されているときは、期限を定めてその返還を求める。(５）　評価委員会等にて評価を受けた診断の結果、総合評点1.0以上と診断された場合の耐震改修等事業は、補助対象とならないから、本交付決定を取り消す。 |

別記様式第10号（第11条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金不交付決定通知書

今治市指令　　第　　号

　　　年　　月　　日

　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第10条の規定により申請のありました補助事業について、同要綱第11条の規定に基づき次の理由により補助金の不交付を決定したので通知します。

|  |  |
| --- | --- |
| 不交付の理由 |  |

別記様式第11号（第12条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業変更申請書

年　　月　　日

　（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で補助金交付決定の通知があった補助事業を変更したいので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第12条第１項の規定により、下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 変更する内容 |  |
| 変更する理由 |  |

※具体的に記載してください。

別記様式第12号（第12条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定変更通知書

今治市指令　　第　　号

　　　　　　　　　　　　様

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で交付決定を通知した今治市木造住宅耐震改修等事業補助金については、次のとおり当該決定の額を変更したので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第12条第２項の規定により通知します。

　　　　　年　　月　　日

今治市長　　　　　印

記

１　変更に係る補助事業の内容は、　　年　　月　　日付け変更申請書記載のとおりとする。

２　変更に係る交付決定の額は、次のとおりとする。

（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 既交付決定額 | 今回変更増減額 | 変更交付決定額 |
| 補助事業に要する経費 |  |  |  |
| 補助金の額 |  |  |  |

別記様式第13号（第12条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業変更承認通知書

今治市指令　第　　　号

年　　月　　日

　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　　　　年　　月　　日付けで変更申請のあった今治市木造住宅耐震改修等事業については、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第12条第２項の規定により、その申請を承認したことを通知します。

記

１　変更に係る補助事業の内容は、　　年　　月　　日付け変更申請書記載のとおりとする。

別記様式第14号（第13条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請取下申請書

　　年　　月　　日

　（宛先）今治市長

住　　所

申請者　　氏　　名

電話番号

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で補助金交付決定の通知があった補助事業を取り下げしたいので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第13条第１項の規定により、下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 取下理由 |  |

別記様式第15号（第13条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請取下承認通知書

今治市指令　第　　　号

年　　月　　日

　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　　　　年　　月　　日付けで取下申請のあった今治市木造住宅耐震改修等事業については、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第13条第２項の規定により、承認したことを通知します。

別記様式第16号（第14条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業実績報告書

　　年　　月　　日

　（宛先）今治市長

住　　所

 申請者　氏　　名

電話番号

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で補助金交付決定の通知があった補助事業について、補助事業が完了したので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第14条の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

１　補助事業実績額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （内訳） | 耐震改修工事費 | 円　 |  |
| 耐風改修工事費 | 　　　　　　　　　 円 |
| 耐震シェルター設置工事費 | 円　 |

２　事業期間

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日 |  |

３　補助金交付申請額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （内訳） | 耐震改修工事費 | 円　 |
| 耐風改修工事費 | 　　　　　　　　　 円 |
| 耐震シェルター設置工事費 | 円　 |

別記様式第17号（第14条関係）

完了報告書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者氏名 |  | 交付決定通知番号 |
|  |
| 対象となる家屋の所在地 |  |
| 施　工　者（耐震改修　　耐震ｼｪﾙﾀｰ設置工事業者） | 会社名：建設業許可番号：担当者氏名：担当者連絡先： |
| 確認日 | 　　年　　月　　日 | 立会人 |  |
| 手直し結果確認日 | 　　年　　月　　日 |  |
| 措置項目 | 措置の有無 | 確認結果・手直し指摘事項 | 手直し結果 |
| 地盤・基礎に関する措置 | 有・無 |  |  |
| 建物上部構造に関する措置 | 有・無 |  |  |
| 老朽度・その他に関する措置 | 有・無 |  |  |
| （宛先）今治市長耐震改修工事、耐風改修工事又は耐震シェルター設置工事完了段階での工事内容が適切であることを確認しました。　　　　　　　年　　月　　日監理者氏名　　　　　　　　　　　　上記の報告内容について確認しました。　　　　　　　年　　月　　日 申請者氏名　　　　　　　　　　　　 |

別記様式第18号（第15条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付額確定通知書

今治市指令　　第　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　　　　年　　月　　日付けで報告のあった今治市木造住宅耐震改修等事業実績報告書を審査した結果、適正に事業が行われていると認めましたので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第15条の規定により、下記のとおり通知します。

　なお、速やかに同要綱第16条の規定による請求を行ってください。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 交　付　年　度 | 　　　　　年度 |
| 補助金交付確定額 | 　　　　　　　　　　円 |

別記様式第19号（第16条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金請求書

年　　月　　日

　（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　申請者　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で補助金交付額確定の通知があった補助金の交付を受けたいので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第16条の規定により、次のとおり請求します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金請求額 | 円 |  |
| （内訳） | 耐震改修工事費 |  | 円 |  |
| 耐風改修工事費 |  | 円 |
| 耐震シェルター設置工事費 |  | 円 |

別記様式第20号（第16条関係）

今治市木造住宅耐震改修工事補助金代理受領委任状

　（宛先）今治市長

年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　委任者　　　　氏　　名

(自 署)

　　　　　　　　　　　（補助事業者）　電話番号

耐震改修工事補助金の受領権限を下記の者に委任いたします。

記

１　補助金額　　　金　　　　円

２　受任者

　　　住所

　　　会社名

　　　代表者名

３　受任者振込口座名

　（補助金振込先口座）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 金融機関名 | □　銀　行□　金　庫□　農　協 | □　本　店□　支　店□　支　所 |
| 預金種別 | □　普通　　　□当座 | 口座番号 |  |
| 口座名義人 | （ふりがな）　氏　　名 |

別記様式第21号（第16条関係）

今治市木造住宅耐震シェルター設置工事補助金代理受領委任状

　（宛先）今治市長

年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　委任者　　　　氏　　名

(自 署)

　　　　　　　　　　　（補助事業者）　電話番号

耐震シェルター設置工事補助金の受領権限を下記の者に委任いたします。

記

１　補助金額　　　金　　　　円

２　受任者

　　　住所

　　　会社名

　　　代表者名

３　受任者振込口座名

　（補助金振込先口座）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 金融機関名 | □　銀　行□　金　庫□　農　協 | □　本　店□　支　店□　支　所 |
| 預金種別 | □　普通　　　□当座 | 口座番号 |  |
| 口座名義人 | （ふりがな）　氏　　名 |

別記様式第22号（第17条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金地位継承申請書

（宛先）今治市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　申請者　　氏　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

　　年　　月　　日付け　　　　　第　　　号により内定（交付決定）通知を受けた今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付の地位を継承したいので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第17条第２項の規定により申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 建物所在地 | 今治市 |
| 申請者 | 変更前 | 住　　所氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 変更後 | 住　　所氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 継承の理由 |  |
| 継承の年月日 | 　　　　　年　　月　　日 |
| 　補助事業申請者等の地位を継承するに当たり、次のいずれにも該当することを誓約します。　(1) 市税を滞納していないこと。　(2) 今治市暴力団排除条例第２条第３号に規定する暴力団員等でないこと。　　なお、上記について、市が必要と認める場合には、調査することに同意します。 |

（添付書類）

　(1) 地位を継承する者であることを証する書類

　(2) 共有者又は占有者の同意書（共有の場合又は所有者と占有者が異なる場合）

　(3) 納税状況調査同意書

　(4) その他市長が必要と認める書類

別記様式第23号（第17条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金地位継承認定通知書

　　第　　号

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　　　　年　　月　　日付けで申請のあった今治市木造住宅耐震改修等事業については、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第17条第３項の規定により、認定したことを通知します。

別記様式第24号（第18条関係）

今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付決定取消通知書

今治市指令　第　　　号

年　　月　　日

　　　　　　　　様

今治市長　　　　　印

　　　　年　　月　　日付け今治市指令　　第　　号で補助金交付決定（確定）通知をした今治市木造住宅耐震改修等事業補助金については、次のとおり取り消したので、今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第18条第２項の規定により通知します。

　なお、すでに交付された補助金がある場合は、速やかに返還をしてください。

記

１　補助金交付決定（確定）額　　　　　　　　　　　　　　　円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （内訳） | 既決定額 | 円 |  |
| 取消額 | 円 |
| 取消後決定額 | 円 |

２　交付済補助金の返還

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 既交付済額 | 円 |  |
| 取消後交付すべき額 | 円 |
| 返還補助金額 | 円 |

３　取り消し理由

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取消該当条項 | 今治市木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第18条第１項　第　　号該当 |  |
| 取消理由 |  |